

様式4の2

令和5年度 学校運営協議会評価報告書2

鳥取県立岩美高等学校

学校長 辻中 孝彦

評価日	令和6年2月13日（火）
評価・提言	学校の所見・改善策
1 重点目標の達成状況について ・3つの目標「学力＝学ぶ力の向上と進路実現」「人間の育成」「地域と連携した学校づくりと魅力化」については学校評価アンケートの結果などから概ね達成されているといえる。 2 目標達成のための取組結果について ・「生徒が主体的に取り組む授業の工夫」について、生徒数増で年度当初はリスタート学習をはじめとした少人数教育に苦戦した場面があったが、年度末では改善された。 ・「探究学習の発展・充実」については、活動や成果物が地域貢献につながるような取組を今後も期待したい。 ・「生徒募集」は生徒数も増え、学校魅力化CDを中心とした広報活動が功を奏していることが大変評価できる。地元をよく知り地域と密着している岩美町出身の生徒がもっと増えて岩美高校がますます盛り上がるよう期待する。 3 具体目標の達成状況について ・「学校教育活動を通した基本的生活習慣とマナーの確立」「多様な生徒を理解し一人一人の自己有用感の伸長」の項目について、家庭でのスマートフォンの使い方面で課題が残るとの指摘を受けた。 ・地域との連携をさらにはかるためには岩美町民の理解が必要となるがまだ昔の岩美高校のイメージを払拭できていない方も多い。 4 目標達成のために取り組んだ具体的方策について ・「進路実績の向上」については国公立大学進学者をほぼ毎年出していることは評価できるが、岩美高校で国公立大学に進学できるというイメージは強くない。また、有名私立大学の「指定校推薦」等の情報があれば生徒募集に直結する。 5 その他	・少人数クラスの有効活用や創意工夫を取り入れた授業実践により、リスタート学習をさらに充実させていきたい。 ・岩美中学校の生徒を岩美高校へ招き、授業体験をしてもらう機会を持ち、中学生には好評だった。今後も適切な時に実施し、岩美中学校のからの入学者を増やしていきたい。 ・保護者に生徒のスマートフォンの使い方について改善を促す方策が必要である。 ・学校魅力化CDが定期的に発行している学校情報誌「瓦版日々つれづれ」を様々なところに配布し、岩美高校の日常を公開、発信する。 ・生徒募集の情報紙に本年度学校に届いた「指定校推薦」の大学リストを載せ中学校に届けた。 ・学校評価アンケートが時代の流れに合っていない項目があるので、アップデートする必要がある。また、教員側に都合のよいものになっていないか検証を引き続き行う。

